

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市農林産物品評会						
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算				
事業の目的	農林産物の生産性及び品質の向上により、農林産物生産者の営農意欲の増進を図る。 また、幅広く消費者に宇陀の農林産物を販売し、新鮮・安心・安全性を啓発することで、地域農林業の発展を図る。				区分	No.	区分名		
					款	5	農林水産業費		
					項	1	農業費		
					目	3	農業振興費		
細目	1	農業振興費							
根拠条例等	宇陀市農林産物品評会開催要領								
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化								
H26年度事業の概要	農林産物の生産者より、市内で生産された農林産物を出品いただき、品評会および即売会を実施する。また、出品された農林産物については、審査を行い、優秀な農林産物の生産者に対し表彰を行う。 事業費内訳 報償費 133,880円(参加賞、副賞等) 需用費 80,000円(消耗品等) 役務費 32,400円(郵送料) 2,200円(筆耕量)				財源の内訳 (単位:千円)				
					分担金				
事業の成果	平成24年度は、農林産物生産者より125点の出品があり、奈良県知事賞など21名が受賞(市役所にて開催)。市内農林家が生産した農林産物の啓発(新鮮・安全・安心)を図ることができた。 平成25年度においては、11月8日・9日に、うだアニマルパークにて開催。				使用料				
					国費				
					県費				
					市債				
					その他				
					一般財源	250			
					H26予算額	A 250			
H25当初予算額	B 187								
H25現計予算額	187								
増減額	A-B 63								
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)		59	187						
従事職員数【人工】		0.01	0.01						
人件費(人工×8,000千円)		80	80						
総事業費:人件費含む(千円)		139	267						
活動指標名		出品数							
活動指標の算式		—							
活動指標の実績		125	単位	点			131	単位	点
単位当たりコスト(円)		1,112	2,038						
事業の目標		農林産物品評会を通して、農林産物生産者のより一層の営農意欲と生産性及び品質の向上を図り、消費者に地元の農林産物のPRを行う。					<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (3)農林産物品評会の開催		
							備考		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市暗渠排水設置事業補助金				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	基金として積み立てた軽自動車税徴収額(農耕用車両)相当額を財源に、宇陀市における農地の機能を適正に発揮し、農業の振興を図るため、適切な土壌を育てよう暗渠排水施設に係る経費の一部を補助する。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	1	農業振興費					
根拠条例等	宇陀市暗渠排水設置事業補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	暗渠排水事業を行う農家の方を対象に補助金を交付。 1m当たり300円以内 1,500m × 300円 = 450,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	農地の機能を適正に発揮し、耕作放棄地の解消に繋がる。 H24年度実績 1,844.5m H25年度暫定 1,064.0m				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		450
					一般財源		
					H26予算額	A	450
					H25当初予算額	B	300
H25現計予算額		300					
増減額	A-B	150					
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		390	300		宇陀市農業支援基金繰入金 450千円		
従事職員数【人工】		0.10	0.10				
人件費(人工×8,000千円)		800	800				
総事業費:人件費含む(千円)		1,190	1,100				
活動指標名	申請延長						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績	1,844	単位	m	1,000	単位	m	
単位当たりコスト(円)	645		1,100				
事業の目標	農地の排水を整備し、農産物の生産を拡大する。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (6)宇陀市農業支援基金事業	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市新設雨除けハウス設置事業補助金			
所管課	142	農林課	(農林商工部)			
事業の目的	基金として積み立てた軽自動車税徴収額(農耕用車両)相当額を財源に、宇陀市の特産としているホウレンソウなど、高原野菜の生産振興を促すため、雨除けハウス設置に係る経費の一部を補助する。				宇陀市一般会計予算	
	区分	No.	区分名			
	款	5	農林水産業費			
	項	1	農業費			
	目	3	農業振興費			
細目	1	農業振興費				
根拠条例等	宇陀市雨除けハウス設置事業補助金交付要綱					
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化					
H26年度事業の概要	野菜等を生産するために雨除けハウスを設置する農業者に補助金を交付する。 ハウス施設設置事業補助金 1㎡当り500円以内 2,000㎡×500円=1,000,000円				財源の内訳 (単位:千円)	
	事業の成果	冷涼な夏季の気象条件に適した軟弱野菜の生産は、降雨による立ち枯れ病などの発生が多く、安定した周年栽培が不可能であった。 この降雨を防ぐことにより軟弱野菜の需要の高まる夏季でも安定した生産出荷が図られ、大和高原野菜の生産拡大とブランド化に繋がる。				分担金
使用料						
国費						
県費						
市債						
その他		1,000				
一般財源						
H26予算額		A	1,000			
H25当初予算額	B	2,000				
H25現計予算額		2,000				
増減額	A-B	▲ 1,000				
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)	493	2,000	宇陀市農業支援基金繰入金 1,000千円			
従事職員数【人工】	0.10	0.10				
人件費(人工×8,000千円)	800	800				
総事業費:人件費含む(千円)	1,293	2,800				
活動指標名	申請面積					
活動指標の算式	—					
活動指標の実績	1,844	単位	㎡	4,000	単位	㎡
単位当たりコスト(円)	701		700			
事業の目標	適切な土壌水分管理による農作業効率の向上と災害の防止				備考	
					<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (6)宇陀市農業支援基金事業	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	農地・農業用施設維持管理に伴う重機借上げ助成事業補助金				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	基金として積み立てた軽自動車税徴収額(農耕用車両)相当額を財源に、宇陀市における農地及び土地改良施設の機能を適正に発揮し、農業の振興を図る。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	1	農業振興費					
根拠条例等	宇陀市農地・農業用施設維持管理に伴う重機借上げ補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	小規模な自然災害等による農地・農業用施設維持管理に伴う重機の借上げ経費に対して補助金を交付する。 重機借上げ最大2日間35,000円以内補助 (借上料70,000円×50%)				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	宇陀市における農地及び土地改良施設の機能を適正に発揮し、耕作放棄地の解消に繋がる。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源		1,450
					H26予算額	A	1,450
					H25当初予算額	B	600
H25現計予算額		600					
増減額	A-B	850					
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		935	600		宇陀市農業支援基金繰入金 1,450千円		
従事職員数【人工】		0.20	0.20				
人件費(人工×8,000千円)		1,600	1,600				
総事業費:人件費含む(千円)		2,535	2,200				
活動指標名		申請件数					
活動指標の算式		—					
活動指標の実績		26	単位	件	20	単位	件
単位当たりコスト(円)		97,500		110,000			
事業の目標	農地・農業用施設の機能の適正を図る。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (6)宇陀市農業支援基金事業	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市有害鳥獣防除施設設置被害防除事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	野生鳥獣による農林産物への被害を防止するため、有害鳥獣の侵入防止を目的とした防除施設の設置を行う経費の一部を補助する				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	1	農業振興費					
根拠条例等	宇陀市有害鳥獣防除施設設置被害防除事業補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	有害鳥獣の侵入防止のための柵、ネット、電気柵など、1m当たり300円以内を補助する。 10,000m × 300円 = 3,000,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	平成21年度 53件 13km 平成22年度 58件 17km 平成23年度 80件 23km 平成24年度 38件 10km 平成25年度 51件 12.5km(暫定)				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	3,000	
					H26予算額	A 3,000	
					H25当初予算額	B 3,000	
H25現計予算額	3,000						
増減額	A-B						
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	2,889	3,000					
従事職員数【人工】	0.30	0.30					
人件費(人工×8,000千円)	2,400	2,400					
総事業費:人件費含む(千円)	5,289	5,400					
活動指標名	申請延長						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績	10,000 単位 m	12,500 単位 m					
単位当たりコスト(円)	529	432					
事業の目標	農産物への有害鳥獣による被害を防止する。				備考		
					<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (7)有害鳥獣対策の推進		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	数量調整円滑化推進事業					
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	米政策改革推進対策を推進するため、主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律等に基づき、市内196地区における平成26年度産米の生産調整目標面積を定め、米政策改善推進対策を推進する。					区分	No.	区分名
						款	5	農林水産業費
						項	1	農業費
						目	3	農業振興費
細目	2	数量調整円滑化推進事業費						
根拠条例等	奈良県数量調整円滑化推進事業費補助金交付要綱							
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化							
H26年度事業の概要	米政策改革推進対策を推進するため、配分ルールの設定、助言指導、計画書の作成、確認業務など行う。 賃金 295,000円(臨時職員賃金) 需用費 331,000円(消耗品、燃料代) 役務費 54,000円(通信運搬費)					財源の内訳 (単位:千円)		
						分担金		
事業の成果	平成24年度(反収495kg換算) 目標生産量 3,780.838t 実績 3,669.336t 目標作付面積 763.806ha 実績 741.280ha 平成25年度(反収494kg換算) 目標生産量 3,739.629t 実績 3,625.871t 目標作付面積 757.010ha 実績 733.982ha					使用料		
						国費		
						県費	679	
						市債		
						その他		
						一般財源	1	
						H26予算額	A	680
						H25当初予算額	B	680
H25現計予算額	680							
増減額	A-B							
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		756	679		数量調整円滑化推進事業補助金 679千円			
従事職員数【人工】		0.30	0.30					
人件費(人工×8,000千円)		2,400	2,400					
総事業費:人件費含む(千円)		3,156	3,079					
活動指標名		農家戸数						
活動指標の算式		—						
活動指標の実績		3,239	単位	戸	3,238	単位	戸	
単位当たりコスト(円)		974		951				
事業の目標	宇陀市の振興作物・販売、水田活用、担い手の育成等の将来方向を明確にし、生産対策及び経営対策を実施することにより水田農業の構造改革を促進する。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 その他の農林業予算	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	中山間地域直接支払事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	中山間地域等は流域の上流部に位置し、当該地域等の農業・農村が有する水源涵養機能、洪水防止機能等の多面的機能により、下流域の都市住民等の生命・財産・くらしが守られている。しかし、中山間地域等では、高齢化と平地に比べ自然的・経済的・社会的条件が不利な地域があり、担い手の減少、耕作放棄地の増加等により、多面的機能が低下し、大きな経済的損失が懸念されている。従って、中山間地域等において適切な農業生産活動が継続的に行われるよう農業の生産条件に関する不利を補正する支援を行い、多面的機能の確保を図る。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	4	中山間地域直接支払事業費					
根拠条例等	宇陀市中山間地域等直接支払交付金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	実施期間 平成22年度～平成26年度 交付対象集落 41集落 交付対象面積 2,510,762㎡ 事業費 43,288,000円、事務費 317,000円 計43,605,000円 需用費 245,000円(消耗品費) 役務費 51,000円(通信運搬費) 使用料 21,000円(コピー使用料) 補助金 43,288,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の成果 実施地域の農家が協力し合い、耕作放棄地の発生防止等による多面的機能の維持・向上等を図る。				分担金		
使用料							
国費							
県費					32,419		
市債							
その他							
一般財源					11,186		
H26予算額					A 43,605		
H25当初予算額	B 43,470						
H25現計予算額	43,470						
増減額	A-B 135						
事業のコスト			平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況 中山間地域等直接支払交付金 32,419千円		
決算額又は決算見込額(千円)	43,481	43,470					
従事職員数【人工】	1.00	1.00					
人件費(人工×8,000千円)	8,000	8,000					
総事業費:人件費含む(千円)	51,481	51,470					
活動指標名	集落数						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績	41 単位 集落	41 単位 集落					
単位当たりコスト (円)	1,255,634	1,255,366					
事業の目標	耕作放棄地の発生の防止・多面的機能の確保のため、集落で農地の管理方法や役割分担を取り決めた協定に基づき、5年以上農業生産活動を行うと共に、将来に向けた体制づくりを行っていく。					<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] その他の農林業予算	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	経営体育成支援事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	昨今の日本の農業は農業所得の激減、農業従事者の減少・高齢化の進展、農地面積の減少等を受け厳しい状況におかれている。このような中で、農業生産の持続性を確保し、意欲ある多様な経営体の育成・確保を図っていくことが必要である。このため、それぞれの経営体が直面している課題に応じた、きめ細やかな支援の実施を通じ意欲ある多様な経営体を育成・支援する				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	7	経営体育成交付金					
根拠条例等	宇陀市経営体育成支援交付金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	融資主体型補助 4経営体 事業費 30,000千円(内助成金30%以内 9,000千円) 内訳(計画) A農家 パイプハウス15棟 10,074,788円 農機 2,348,125円 B農家 パイプハウス17棟 12,218,888円 C農家 パイプハウス 5棟 3,140,590円 D農家 農機 2,217,600円				財源の内訳 (単位:千円)		
	新規就農者、認定農業者、集落営農等適切な人・農地プラン作成地区で経営改善を目指す中心経営体等に位置づけられた地域農業を担う者が、農業機械の更新・導入及び、ハウスの整備等で、就農の定着及び農業経営規模拡大により、地域の農業を活性化させる。				分担金		
使用料							
国費							
県費					9,000		
市債							
その他							
一般財源							
H26予算額	A	9,000					
H25当初予算額	B	6,000					
H25現計予算額		6,000					
増減額	A-B	3,000					
事業のコスト			平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	14,632	1,124					
従事職員数【人工】	0.10	0.05					
人件費(人工×8,000千円)	800	400					
総事業費:人件費含む(千円)	15,432	1,524					
活動指標名	経営体育成支援対象者						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績	4	単位 人	0	単位 人			
単位当たりコスト (円)	3,858,000		0				
事業の目標	適切な人・農地プラン作成地区で経営改善を目指す中心経営体等に位置づけられた地域農業を担う者が、農業機械の更新・導入及び、ハウスの整備等で、就農の定着及び農業経営規模拡大により、より一層地域の農業を活性化させ、農業経営の安定を目指す。					<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 その他の農林業予算	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	農地・水保全管理支払交付金				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	農地・農業用水等の資源は、農村の過疎化、高齢化の進行に伴う集落機能の低下により、適切な保全管理が困難となっている。地域主体の保全管理の取組を強化し、地域共同による農地・農業用水等の資源の保全管理活動と、その一環として行う農村の環境保全活動に加え、農地周りの農業用排水路、農道、ため池等施設の長寿命化を図るための取組に対して支援する。				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	9	農地・水保全管理支払交付金事業					
根拠条例等	農地・水保全管理支払交付金実施要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	・共同活動 22活動組織 交付金11,166,000円(内市負担金2,792,000円) (国50%、県25%、市25%) ・向上活動 13活動組織 交付金8,268,000円(内市負担金2,067,000円) (国50%、県25%、市25%) 合計 交付金19,434,000円(内市負担金4,859,000円) ・事務費 202,000円(内市負担金2,000円) 需用費 161,000円(消耗品費) 役務費 41,000円(通信運搬費)				財源の内訳 (単位:千円)		
	・共同活動 地域共同による草刈りや土砂上げ等農地、水路等の基礎的な保全管理及び、花植え等良好な景観形成を保つための活動により農村環境改善が見込まれる。 ・向上活動 農業用排水路等の補修・更新など施設の長寿命化のための活動により農業基盤が整備された。				分担金 使用料 国費 県費 200 市債 その他 一般財源 4,861 H26予算額 A 5,061 H25当初予算額 B 4,923 H25現計予算額 5,056 増減額 A-B 138		
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)	4,573	4,859		農地・水・保全管理支払推進交付金 200千円			
従事職員数【人工】	1.00	1.00					
人件費(人工×8,000千円)	8,000	8,000					
総事業費:人件費含む(千円)	12,573	12,859					
活動指標名	活動組織数						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績	22	単位	活動組織	22	単位	活動組織	
単位当たりコスト(円)	571,500		584,500				
事業の目標	共同活動による農地、水路等の基礎的な保全管理及び農村環境の保全など地域ぐるみによる協力体制により、良好な農村の景観形成を築くことができる。また、向上活動により農業用排水路等の補修・更新等施設の長寿命化など農業施設の基盤整備を行うことができる。この事業は平成28年度までの対策として継続する。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 その他の農林業予算	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	農地集積協力金事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	土地利用型農業からの経営転換、相続、高齢によるリタイア等を契機として(遊休農地を保有している者を除く)農地利用集積円滑化団体等を通じて、人・農地プランに位置づけられた地域の中心となる経営体に農地が集積されることが確実に見込まれる場合や、中心となる経営体の農地を連坦化させようとする場合等に、市がそれに協力する者に対して農地集積協力金を交付する。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	10	農地集積協力金事業					
根拠条例等	宇陀市農地集積協力金交付事業補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	経営転換協力金 300,000円/0.5ha以下×3戸=900,000円 分散錯圃解消協力金 5,000円/0.1ha×2ha=100,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の成果	貸し手に係る諸条件が厳しく、実態として進みにくい状況にある。 平成26年度以降にあっては条件緩和等の措置がされる見込みで、人・農地プランの推進と共に進めていく。				分担金	
使用料							
国費							
県費						1,000	
市債							
その他							
一般財源							
H26予算額						A	1,000
H25当初予算額	B	1,000					
H25現計予算額		1,000					
増減額	A-B	0					
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	0	0	農地集積協力金 1,000千円				
従事職員数【人工】	0.10	0.10					
人件費(人工×8,000千円)	800	800					
総事業費:人件費含む(千円)	800	800					
活動指標名	農地面積						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績	0	単位	ha	0	単位	ha	
単位当たりコスト(円)							
事業の目標	中山間地域で10a~20a規模の経営体がおおむねを占める構造を目指す。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] その他の農林業予算	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	環境保全型農業直接支援対策事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	農業分野においても、地球温暖化防止や生物多様性保全に積極的に貢献することが重要となっており、平成23年度より、環境保全の高い営農活動に取り組み、販売を目的として生産を行う農業者等に対して直接支払う。				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	90	環境保全型農業直接支援対策事業					
根拠条例等	宇陀市環境保全型農業直接支払交付金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	対象者：エコファーマー認定者・有機農業に取り組む農業者 対象事業：化学肥料・化学合成農薬の5割低減の取組と炭素を多く含んだたい肥による水質保全に資する施用、有機農業等 有機農業については国：4,000円/10a、県：2,000円/10a、市：2,000円/10a 事業取組農地A=2,000a 国から農家へ直接支援 1,500a×4,000円/10a=600,000円 市から農家へ直接支援 1,500a×4,000円/10a=600,000円(内県費1/2) 推進事務費(通信運搬費) 30,000円(100%県費)				財源の内訳 (単位：千円)		
					分担金		
事業の成果	農業生産活動による、環境負荷発生リスクの軽減 平成24年度実績 取組人数 12人 取組面積 1,370a 支援交付金 312,400円(国直払) 312,400円(県156,200円、市156,200円) 平成25年度実績見込み 取組人数 10人 取組面積 939a 支援交付金 374,880円(国直払) 374,880円(県187,440円、市187,440円)				使用料		
					国費		
					県費	330	
					市債		
					その他		
					一般財源	300	
					H26予算額	A 630	
					H25当初予算額	B 830	
H25現計予算額	830						
増減額	A-B ▲ 200						
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	348	830					
従事職員数【人工】	0.05	0.05					
人件費(人工×8,000千円)	400	400					
総事業費：人件費含む(千円)	748	1,230					
活動指標名	認定者数						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績	12	単位	人	10		単位	人
単位当たりコスト(円)	62,333		123,000				
事業の目標	農業生産活動による環境負荷発生リスクの軽減					備考	
					<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] その他の農林業予算		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	新規就農者確保事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	農業従事者の高齢化が急速に進展する中、持続可能な力強い農業を実現するには、青年の新規就農者を大幅に増加させる必要がある。新規就農するにあたっては、所得の確保が課題となっていることから、青年新規就農者に対する給付金の給付を行うことにより、青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図り、青年就農者の大幅な増大を図る。				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	91	新規就農者確保事業					
根拠条例等	宇陀市青年就農給付金事業補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	条件: 45歳未満で独立・自営就農した人、就農後の総所得が250万円未満の者が対象となる。 新規就農者 10人×1,500,000円 = 15,000,000円 (3名新規予定+7名継続)				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	平成24年度 6人×1,500,000円(6名新規) 平成25年度 7人×1,500,000円(1名新規+6名継続)(暫定)				使用料		
					国費		
					県費	15,000	
					市債		
					その他		
					一般財源		
					H26予算額	A	15,000
					H25当初予算額	B	12,000
H25現計予算額		12,000					
増減額	A-B	3,000					
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	9,000	10,500	青年就農給付金 15,000千円				
従事職員数【人工】	0.50	0.50					
人件費(人工×8,000千円)	4,000	4,000					
総事業費:人件費含む(千円)	13,000	14,500					
活動指標名	新規就農者数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績	6	単位	人	7	単位	人	
単位当たりコスト(円)	2,166,667		2,071,429				
事業の目標	青年の就農意欲の喚起と就農定着				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] その他の農林業予算	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ため池防災対策等推進事業(施設点検)				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	東日本大震災に於いてため池等の農業水利施設が被災し、人命が失われるなどの被害が発生したため、早急に施設の現状を確認しハザードマップ作成等の災害予防が必要である。 このため農業用施設(ため池)の一斉点検により、施設整備に先行して短期間・低コストで実現可能な減災対策を緊急的に実施し、施設の安全性とともに地域の安全性の向上を図る。				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	97	震災対策農業水利施設整備事業					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	震災対策農業水利施設整備事業によるため池防災対策点検委託。 ため池台帳に記載されている受益面積2ha未満且つ貯水量1,000m ³ 以上のため池の一斉点検。 ・市内33箇所 × 70,000円 = 2,310,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	ため池施設の現状を把握し、施設の安全性とともに地域の安全度を高める。 H25年度 受益面22ha以上のため池 84箇所点検				使用料		
					国費		
					県費	2,310	
					市債		
					その他		
					一般財源		
					H26予算額	A 2,310	
					H25当初予算額	B	
H25現計予算額	5,040						
増減額	A-B 2,310						
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		5,040		震災対策農業水利施設整備事業補助金 2,310千円			
従事職員数【人工】		0.25					
人件費(人工×8,000千円)		2,000					
総事業費:人件費含む(千円)		7,040					
活動指標名	ため池数						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績		単位	84	単位	箇所		
単位当たりコスト(円)		83,810					
事業の目標	ため池施設の現状を把握し、施設の改修計画やハザードマップ作成等を行う。				<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (8)ため池防災対策等推進事業(施設点検)		
					※H25現計予算額はH24からの繰越分		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	経営所得安定対策直接支払推進事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	経営所得安定対策において、農家の申請書類の受付、作付面積の確認事務について行う。また、集落営農の法人化に必要な事務費助成、集落営農の経理事務担当者を育成する活動を支援する。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	98	経営所得安定対策直接支払推進事業					
根拠条例等	奈良県経営所得安定対策直接支払推進事業費補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	経営所得安定対策の実施に必要な推進活動の内、市が行う現場における推進活動や要件確認等に必要となる経費を国から助成。 賃金 874,000円(臨時雇用賃金) 報償費 1,007,000円(現地確認手当) 需用費 3,447,000円 役務費 300,000円 使用料等 200,000円 計 5,828,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	H24年度直接支払交付金実績 面積 交付金 米 41,226,000円 野菜 2158.80a 3,525,000円 花き・花木 279.30a 488,000円 その他 139.40a 214,000円 合計 45,453,000円				使用料		
					国費		
					県費	5,827	
					市債		
					その他		
					一般財源	1	
					H26予算額	A 5,828	
					H25当初予算額	B 5,888	
					H25現計予算額	5,888	
					増減額	A-B ▲ 60	
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	2,097	2,081	経営所得安定対策直接支払推進事業補助金 5,827千円				
従事職員数【人工】	0.20	0.20					
人件費(人工×8,000千円)	1,600	1,600					
総事業費:人件費含む(千円)	3,697	3,681					
活動指標名	事業参加農家戸数						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績	2,407	単位 戸	2,407	単位 戸			
単位当たりコスト(円)	1,536		1,529				
事業の目標	経営所得安定対策の推進活動を行い、制度加入者の申請書類等の配布・回収の申請手続きを支援し、近畿農政局奈良地域センター等へ情報を提供する。				備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] その他の農林業予算		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	水田活用経営所得安定対策交付金						
所管課	142	農林課	(農林商工部)						
事業の目的 生産調整水田の利用に適した土地利用型作物として、宇陀市特産の大豆・小豆の生産奨励を行い、経営所得の安定化と生産拡大による産地化、ブランド化を推し進める。					宇陀市一般会計予算				
					区分	No.	区分名		
					款	5	農林水産業費		
					項	1	農業費		
					目	3	農業振興費		
細目	98	経営所得安定対策直接支払推進事業							
根拠条例等	宇陀市水田活用振興作物助成交付金交付要綱								
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化								
H26年度事業の概要	経営所得安定対策直接支払推進事業に併せ、大豆・小豆を栽培する方に、10a当たり5千円以内の生産奨励金を交付する。 $450反 \times 5,000円 / 10a = 2,250,000円$				財源の内訳 (単位:千円)				
	事業の成果 平成25年度事業対象となる生産面積(暫定) 小豆 200a 大豆 1,500a (内、黒大豆1,000ha)				分担金				
				使用料					
				国費					
				県費					
				市債					
				その他					
				一般財源	2,250				
				H26予算額	A 2,250				
				H25当初予算額	B 2,250				
				H25現計予算額	2,250				
				増減額	A-B				
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)			850						
従事職員数【人工】			0.10						
人件費(人工×8,000千円)			800						
総事業費:人件費含む(千円)			1,650						
活動指標名		作付け出荷面積							
活動指標の算式		—							
活動指標の実績			1,700	単位 a					
単位当たりコスト(円)			971						
事業の目標	良質大豆・小豆の生産振興と経営所得の向上を図る。					備考			
				<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (5)水田活用経営所得安定対策交付金					

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市地籍調査事業				
所管課	145	地籍調査課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	宇陀市の民有地及び公有地の保全及びその利用の高度化に資すると共に、併せて地籍の明確化を図るため、土地の実態を科学的且つ総合的に調査することを目的とする。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	5	地籍調査費
細目	1	本庁地籍調査費					
根拠条例等	国土調査法第6条の4(事業計画の実施等)						
総合計画	基本計画 第3章 第1節 定住拠点の構築						
H26年度事業の概要	平成26年度 地籍調査事業実施概要 ・榛原檜牧 第3期地区 (面積:64万㎡、筆数:473筆) 地籍図原図作成・面積測定・一筆地調査成果の閲覧 ・榛原檜牧 第4期地区 (面積:72万㎡、筆数:604筆) 地籍基準点測量・現地一筆地調査・一筆地測量 【榛原檜牧地区 地籍調査全体計画】 平成23年度 第1期地区 71万㎡ 平成24年度 第2期地区 97万㎡ 平成25年度 第3期地区 64万㎡ 平成26年度 第4期地区 72万㎡ 調査面積 合計 304万㎡ 地籍基準点測量・現地一筆地調査・一筆地測量				財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の成果	国土調査法に定める地籍調査事業に昭和47年度から着手、現在調査完了56地区、調査中11地区、計67地区、総着手面積は、5,267万㎡、進捗率(着手率)は約22.6%。 調査完了地区では、この事業を実施したことにより、土地の保全が成され、下記の効果が得られる。 ①土地境界をめぐるトラブルの未然防止 ②災害復旧の迅速化 ③登記手続きの簡素化及び費用の軽減、期間の短縮 ④公共事業の効率化 ⑤公共物の管理の適正化 ⑥土地の有効活用の促進				分担金	
使用料							
国費							
県費						22,500	
市債							
その他							
一般財源						7,500	
H26予算額	A	30,000					
H25当初予算額	B	19,830					
H25現計予算額		19,830					
増減額	A-B	10,170					
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	16,130	13,100	地籍調査事業費負担金 22,500千円				
従事職員数【人工】	1.55	1.50					
人件費(人工×8,000千円)	12,400	12,000					
総事業費:人件費含む(千円)	28,530	25,100					
活動指標名	実施面積						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績	97.0	単位	万㎡	64.0	単位	万㎡	
単位当たりコスト(円)	294,124		392,188				
事業の目標	地籍調査未実施地区の早期完遂				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [生活基盤の整備] (4)地籍調査の推進	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	農林道台帳整備委託事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	農道および林道台帳を整備し、建設課所有の市道路台帳管理システム及び道路台帳と同様のデータベースにする。				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	6	農業土木費
細目	1	農業土木費					
根拠条例等	道路法第28条						
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備						
H26年度事業の概要	農道及び林道土地等調査事業 ・保有資料の整理 ・概略基本図作成 ・法務局調査(公図・地積測量図転写・連続図作成・登記調査等) ・現況素図作成(保有図重ね図・建設課道路現況図・税務課(参考)地番図・法務局調査結果割込図等) (概算事業費調査整備) 32路線調査費 30,296千円を26年度より年次的に実施する。				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	農道及び林道を建設課所有の市道路台帳管理システムと同じ基本データにする事で、適正な維持管理を行うことができ、安全性、利便性の向上につながる。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	3,000	
					H26予算額	A 3,000	
					H25当初予算額	B	
H25現計予算額							
増減額	A-B 3,000						
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)							
従事職員数【人工】							
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績			単位	単位			
単位当たりコスト (円)							
事業の目標	建設課所有の市道路台帳管理システム及び道路台帳と同様のデータベースにすることで、適正な維持管理を図る。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] その他の農林業予算	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	県営一般農道整備事業					
所管課	142	農林課	(農林商工部)					
事業の目的	農業経営の合理化及び農業生産力の増強を促進するため、広域農道、基幹農道以外の農道網の基幹となる農道を県営事業で実施する。				宇陀市一般会計予算			
					区分	No.	区分名	
					款	5	農林水産業費	
					項	1	農業費	
					目	6	農業土木費	
細目	1	農業土木費						
根拠条例等	土地改良法第91条第6項							
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化							
H26年度事業の概要	県事業費 26,800,000円 工事内容 用地測量及び用地補償 負担割合 国50%、県35%、市15% 負担金 26,800,000円 × 15% = 4,020,000円				財源の内訳 (単位:千円)			
	事業の成果	中山間地域における農林業の生産力向上、利便性の向上を図り、地域住民生活の安定を図る。				分担金		
使用料								
国費								
県費								
市債						4,000		
その他								
一般財源						20		
H26予算額						A 4,020		
H25当初予算額	B 9,000							
H25現計予算額	9,000							
増減額	A-B ▲ 4,980							
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		4,161	323					
従事職員数【人工】		0.02	0.02					
人件費(人工×8,000千円)		160	160					
総事業費:人件費含む(千円)		4,321	483					
活動指標名		受益面積						
活動指標の算式		—						
活動指標の実績		203 単位 ha	203 単位 ha					
単位当たりコスト(円)		21,286	2,379					
事業の目標	農業経営の合理化、農業生産力の向上や生活環境の利便性向上。					備考		
					<予算ポイント> 【重点事業】 5. 市民安心安全プロジェクト [生活基盤の整備] (1)効果的な道路改良と補修の実施			

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	インターネットによる特産品等発信・販売事業		
所管課	147	まちづくり支援課 (企画財政部)	宇陀市一般会計予算		
事業の目的	インターネットを利用し、宇陀市の特産品等を全国発信し、宇陀市のPRと産業の活性化を図る。		区分	No.	区分名
			款	5	農林水産業費
			項	1	農業費
			目	8	産業企画費
細目	1	産業企画費			
根拠条例等					
総合計画	基本計画 第5章 第2節 商工業の活性化				
H26年度事業の概要	「JAPAN satisfaction guaranteed」に加盟し、商品の販売を行う。 ○月委託料 150,000円×12ヶ月+消費税8%(12,000円×12ヶ月)=1,944千円 ○旅費 92千円 ○事務費104千円 ○通信費 20千円		財源の内訳 (単位:千円)		
			分担金		
事業の成果	宇陀市の特産品等の全国発信と産業の活性化を図る。また、宇陀市HPへと誘導することにより、宇陀市のPRを図る。		使用料		
			国費		
			県費		
			市債		
			その他		
			一般財源		2,160
			H26予算額	A	2,160
			H25当初予算額	B	
H25現計予算額		2,681			
増減額	A-B	2,160			
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況
決算額又は決算見込額(千円)			2,681		
従事職員数【人工】			1.00		
人件費(人工×8,000千円)			8,000		
総事業費:人件費含む(千円)			10,681		
活動指標名		出店商品数			
活動指標の算式		-			
活動指標の実績		単位	20	単位 品	
単位当たりコスト (円)			534,050		
事業の目標	宇陀市の特産品等の販売を促進するとともに、宇陀市の魅力を発信する。		備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] (4)インターネット(宇陀sg)による特産品等の発信・通販		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	特産品等認定・開発補助事業					
所管課	147	まちづくり支援課 (企画財政部)	宇陀市一般会計予算					
事業の目的	市内で生産された農林水産物等について認定基準を定め、特産品・名産品として認定することにより、消費者の信頼を高め普及と需要の拡大を図ることで地域産業の活性化に資する。 また、市内で生産された農林水産物を活用した、魅力ある特産品等の新規開発事業に補助金を交付する。		区分	No.	区分名			
			款	5	農林水産業費			
			項	1	農業費			
			目	8	産業企画費			
細目	1	産業企画費						
根拠条例等	「宇陀市特産品等認定に関する要綱」・「宇陀市特産品等開発補助事業に関する要綱」							
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化							
H26年度事業の概要	【認定】 特産品・名産品について認定基準を定め、これに適合する商品に認定マークを表示することにより付加価値の向上に資する。 需用費 4千円		財源の内訳 (単位:千円)					
	【開発】 魅力ある商品の新規開発に係る必要最小限の費用を助成することで新たな地域ブランドの構築を図る。 特産品等開発事業補助金 1,000千円		分担金					
事業の成果	HP等を用いて情報発信を行い、地域産業の活性化を図る。 ・特産品 6品(毛皮革製品、吉野本葛、ダリア、磨き丸太、宇陀金ごぼう、大和茶) ・名産品 47品(和菓子、味噌、酒、醤油、加工品、工芸品など) ・開発 宇陀せんべい、石窯商品		使用料					
			国費					
			県費					
			市債					
			その他					
			一般財源	1,004				
			H26予算額	A	1,004			
			H25当初予算額	B	505			
H25現計予算額		505						
増減額	A-B	499						
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		500	505					
従事職員数【人工】		0.20	0.20					
人件費(人工×8,000千円)		1,600	1,600					
総事業費:人件費含む(千円)		2,100	2,105					
活動指標名		認定数						
活動指標の算式		—						
活動指標の実績		38.0	単位	件		5	単位	件
単位当たりコスト(円)		55,263	421,000					
事業の目標	認定商品の販路の拡大と付加価値の向上を目指す。			<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] (9)宇陀市特産品等認定・開発補助事業				

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市産木材利用促進事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	木材需要の大部分を占める住宅工事を活性化させることにより、市内で生産された木材の利用を促進し、市内の木材・住宅関連産業を中心とする地域経済の活性化を図ることを目的とする。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	2	林業費
					目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費					
根拠条例等	宇陀市産木材利用促進事業補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	宇陀市産木材購入費の1/2かつ上限100,000円を、市ウッピース商品券により助成する。 新築による構造材の補助 2件×100,000円 増改築による内装材の補助 13件×100,000円 合計 15件 1,500,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	市内の豊富な森林資源を住宅等へ利用することを促進し、また、市商品券による地域経済の活性化を図った。 平成24年度 7件 649千円 平成25年度10件 1,000千円				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	1,500	
					H26予算額	A 1,500	
					H25当初予算額	B 1,000	
H25現計予算額	1,000						
増減額	A-B 500						
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		649	1,000				
従事職員数【人工】		0.03	0.03				
人件費(人工×8,000千円)		240	240				
総事業費:人件費含む(千円)		889	1,240				
活動指標名		申請件数					
活動指標の算式		-					
活動指標の実績		7	単位	件			10
単位当たりコスト(円)		127,000	124,000				
事業の目標	平成26年度申請件数目標 構造材 2件 内装材 13件 合計 15件				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [地域経済の活性化] (3)宇陀市産木材利用促進助成制度	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	有害鳥獣駆除集落取組事業補助金				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	有害鳥獣による農林産物への被害防止を図るため、自主的に有害鳥獣の捕獲体制を整備し、捕獲活動を行う自治会及び農家組合(新たに狩猟免許を受けた者2名を含む3名以上でわなが管理できる団体)に対し補助金を交付する。また、シカ・イノシシが群れで発生している地域に適した囲いワナ装置を導入し、捕獲効率の向上を図る。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	2	林業費
					目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	取組事業1地区40,000円以内(継続は、20,000円) 新規 5地区×40,000円=200,000円 継続 3地区×20,000円=60,000円 小計 260,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	平成22年度 5地区 平成23年度 8地区(新規5地区、継続3地区) 平成24年度 6地区(新規3地区、継続3地区) 平成25年度暫定 6地区(新規3地区、継続3地区)				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他	260	
					一般財源		
					H26予算額	A 260	
					H25当初予算額	B 260	
H25現計予算額	260						
増減額	A-B						
事業のコスト			平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況 地域づくり推進基金繰入金(奈良県市町村振興臨時交付金積立金)260千円		
決算額又は決算見込額(千円)	200	260					
従事職員数【人工】	0.20	0.20					
人件費(人工×8,000千円)	1,600	1,600					
総事業費:人件費含む(千円)	1,800	1,860					
活動指標名	地区数						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績	6 単位 地区	6 単位 地区					
単位当たりコスト(円)	300,000	310,000					
事業の目標	地域で捕獲体制を整備し、鳥獣による農林産物の被害軽減					備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (7)有害鳥獣対策の推進	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	大量捕獲装置導入取組事業補助金				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	シカ・イノシシが群れで発生している地域であって、自主的に有害鳥獣の捕獲体制を整備し、捕獲活動を行う自治会及び農家組合(新たに狩猟免許を受けた者2名を含む3名以上で捕獲装置が管理できる団体)に対し、囲いわな式の捕獲装置購入補助金を交付する。				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	2	林業費
					目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	事業要望を取り、被害が多くシカ・イノシシが集団で行動している地域に対して大量捕獲装置一式(囲み柵、通信引き金、監視カメラ、電源ソーラ等)の購入経費を補助する。 970,000円/一式×3地区=2,910,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	夜間など野生獣の活動時間帯において、監視カメラにより囲いわなへの侵入状況を把握し、遠隔操作により出入口を閉鎖し捕獲するもので、安全かつ捕獲効率が非常に高いため、地域での適正頭数への調整が早く農林産物等への被害が抑えられる。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他	2,910	
					一般財源		
					H26予算額	A 2,910	
					H25当初予算額	B	
H25現計予算額							
増減額	A-B 2,910						
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	/						
従事職員数【人工】							
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績							単位
単位当たりコスト(円)							
事業の目標	地域で捕獲体制を整備し、鳥獣による農林産物の被害軽減				備考		
					<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (7)有害鳥獣対策の推進		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	有害鳥獣駆除個体処分事業補助金				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	鳥獣害による農林産物への被害防止を図るため、自主的に有害鳥獣の捕獲活動を行う自治会及び農家組合(共同取組)に対して補助金を交付する。捕獲したイノシシ・シカの大型獣の処分を衛生的に実施する。				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	2	林業費
					目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費					
根拠条例等	宇陀市有害鳥獣捕獲共同取組事業補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	鳥獣による農林産物への被害防止を図るため、自主的に有害鳥獣の捕獲活動を行う自治会や農家組合等の団体(集落取組事業)に対し、イノシシ・シカ等の大型獣を衛生的に処理するための焼却等の処分費を補助し、有害鳥獣処分に係る労力の低減による捕獲意欲の向上と衛生的処分の推進を図る。 [焼却]室生ペット霊園との単価契約に基づく。 60kg以上:1頭30,000円 60kg未満:1頭25,000円 [埋葬] シカ・イノシシ3,000円以内、サル2,000円以内				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	集落取組において、捕獲後の処理に係る経費負担が軽減されることにより、捕獲実績の向上が図られ、更には有害獣を放置処理することなく、衛生的な処理により環境が保全される。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他	700	
					一般財源		
					H26予算額	A 700	
H25当初予算額	B 2,500						
H25現計予算額	2,500						
増減額	A-B ▲ 1,800						
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)		350	地域づくり推進基金繰入金(奈良県市町村振興臨時交付金積立金)700千円				
従事職員数【人工】		0.01					
人件費(人工×8,000千円)		80					
総事業費:人件費含む(千円)		430					
活動指標名	処理頭数						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績	単位	71	単位	頭			
単位当たりコスト(円)		6,056	備考				
事業の目標	集落取組で捕獲したイノシシ・シカ等の大型獣の処分を衛生的に実施する。				<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] (7)有害鳥獣対策の推進		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	有害鳥獣防除ライセンス取得補助金				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	有害鳥獣による被害の拡大を防ぐため、増えつつある野生獣の個体数を適正に管理する必要があるため、地域ぐるみで効果的かつ迅速な捕獲体制の構築に必要な捕獲資格技術を持つ狩猟者を増やす目的で、狩猟免許取得に必要な経費の一部を補助する。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	2	林業費
					目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費					
根拠条例等	宇陀市有害鳥獣防除ライセンス取得事業助成金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	狩猟免許新規取得のための経費の一部助成 10,000円/人×20人=200,000円 ※狩猟免許取得経費 17,000円(3年更新、手数料3,500円)				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	新規取得者増加により地域での捕獲体制が整いつつある。 H21年度:11人 H22年度:7人 H23年度:27人 H24年度:19人				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他	200	
					一般財源		
					H26予算額	A	200
					H25当初予算額	B	110
H25現計予算額	110						
増減額	A-B	90					
事業のコスト			平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況 地域づくり推進基金繰入金(奈良県市町村振興臨時交付金積立金)200千円		
決算額又は決算見込額(千円)	190		110				
従事職員数【人工】	0.02		0.02				
人件費(人工×8,000千円)	160		160				
総事業費:人件費含む(千円)	350		270				
活動指標名	ライセンス取得者						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績	19	単位 人	11	単位 人			
単位当たりコスト(円)	18,421		24,545				
事業の目標	地域で捕獲体制を整備し、鳥獣による農林産物の被害軽減 違法捕獲の防止					備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (7)有害鳥獣対策の推進	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	有害鳥獣防除ライセンス継続補助金				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	有害鳥獣による被害の拡大を防ぐため、増えつつある野生獣の個体数を適正に管理する必要があるため、地域ぐるみで効果的かつ迅速な捕獲体制の構築に必要な捕獲資格技術を持つ狩猟者を増やす対策を講じているが、ライセンス取得のみでは本人の個人用地のみの捕獲制限を受け、地域ぐるみでの活動や地域を越えての活動を促すうえで狩猟者登録を受ける必要がある。そのため、狩猟者の負担となっている高額な登録経費の一部を補助し、登録率の向上から地域ぐるみの捕獲体制整備を図る				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	2	林業費
					目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	ライセンス保持者及び新規ライセンス取得者の狩猟者登録に要する経費の一部を補助する。 補助額10,000円以内/人×100人=1,000,000円 ※狩猟者登録費用 わな=20,600円 銃 =25,900円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果					使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他	1,000	
					一般財源		
					H26予算額	A 1,000	
H25当初予算額	B						
H25現計予算額							
増減額	A-B 1,000						
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	/						
従事職員数【人工】							
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績						単位	単位
単位当たりコスト(円)							
事業の目標	地域で捕獲体制を整備し、鳥獣による農林産物の被害軽減。登録には保険料も含まれていることから、安心して業務に取り組める。				備考		
					<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (7)有害鳥獣対策の推進		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	鳥獣被害対策実施隊員報酬							
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算					
事業の目的	捕獲等を適正かつ効果的に行うことができる者を任命し、捕獲による鳥獣被害の防止を図る。				区分	No.	区分名			
					款	5	農林水産業費			
					項	2	林業費			
					目	2	林業振興費			
細目	1	林業振興費								
根拠条例等	宇陀市鳥獣被害対策実施隊員に関する要綱									
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化									
H26年度事業の概要	宇陀市の特別職の職員で非常勤のもの報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例に基づき、駆除隊員へ報酬金を支払う。 40,000円×16名=640,000円 (大宇陀・菟田野・榛原・室生の4地域から各4名づつ)				財源の内訳 (単位:千円)					
					分担金					
事業の成果	実施隊委員任命により、捕獲頭数の増加に繋がった。 H21年度: イノシシ 103頭、シカ 123頭 H22年度: イノシシ 272頭、シカ 136頭 H23年度: イノシシ 59頭、シカ 78頭 サル 2頭 H24年度: イノシシ 92頭、シカ 68頭 サル 2頭				使用料					
					国費					
					県費					
					市債					
					その他					
					一般財源	640				
					H26予算額	A	640			
					H25当初予算額	B	640			
H25現計予算額	640									
増減額	A-B									
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況						
決算額又は決算見込額(千円)	600	640								
従事職員数【人工】	0.20	0.20								
人件費(人工×8,000千円)	1,600	1,600								
総事業費:人件費含む(千円)	2,200	2,240								
活動指標名	隊員数									
活動指標の算式	—									
活動指標の実績	16	単位	人				16	単位	人	
単位当たりコスト(円)	137,500	140,000								
事業の目標	効果的な捕獲により、鳥獣被害の軽減を図る。						備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (7)有害鳥獣対策の推進		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市有害鳥獣駆除事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	野生鳥獣による農林産物等への被害を防止するため、専門の技術・知識を備える猟友会へ駆除依頼を行い、機動力のある効果的な有害鳥獣の駆除を行う。				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	2	林業費
					目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費					
根拠条例等	宇陀市有害鳥獣駆除事業補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	捕獲報償金 イノシシ 1頭 3,000円 158頭×3,000円= 474,000円 オスシカ1頭 5,000円 120頭×5,000円= 600,000円 メスシカ1頭 8,000円 216頭×8,000円=1,728,000円 サル 1頭 20,000円 10頭×20,000円= 200,000円 ニホンジカ集中捕獲事業 銃砲所持者10名前後を同一地区に投入。 4回×100,000円/回=400,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の成果	有害鳥獣を捕獲したことにより、農林産物等への被害軽減が図られた。 H21年度捕獲頭数: イノシシ158頭 シカ165頭 サル1頭 H22年度捕獲頭数: イノシシ415頭 シカ185頭 H23年度捕獲頭数: イノシシ101頭 シカ165頭 サル2頭 H24年度捕獲頭数: イノシシ192頭 シカ368頭 サル5頭 H25年度捕獲頭数: イノシシ140頭 シカ416頭 (暫定)				分担金	
使用料							
国費							
県費		1,542					
市債							
その他							
一般財源		1,860					
H26予算額		A 3,402					
H25当初予算額	B 2,279						
H25現計予算額	2,279						
増減額	A-B 1,123						
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	3,270	2,279	森林植生保全事業補助金 1,242千円 ニホンジカ集中捕獲事業補助金 300千円				
従事職員数【人工】	0.02	0.03					
人件費(人工×8,000千円)	160	240					
総事業費:人件費含む(千円)	3,430	2,519					
活動指標名	捕獲頭数						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績	565	単位	頭	556	単位	頭	
単位当たりコスト(円)	6,071			4,531			
事業の目標	効率的な捕獲により鳥獣被害の軽減を図る。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (7)有害鳥獣対策の推進	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	猟友会補助金					
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	宇陀市猟友会へ依頼している有害鳥獣駆除の実施などにより、会員相互の連携強化や狩猟事故防止或いは猟銃の操作技術の向上等の研修や情報提供など、組織活動に対し運営補助を行う。				区分	No.	区分名	
					款	5	農林水産業費	
					項	2	林業費	
					目	2	林業振興費	
細目	1	林業振興費						
根拠条例等	宇陀市猟友会補助金交付要綱							
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化							
H26年度事業の概要	銃・わなの操作技術向上研修 野生鳥獣の保護活動 狩猟技術の向上研修 鳥獣被害対策実施隊との連携 有害鳥獣駆除事業の実施 猟友会補助金 66,000円				財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果	有害鳥獣駆除事業の実施 鳥獣被害対策実施隊との連携 宇陀名張地域鳥獣防止広域対策協議会との連携等				使用料			
					国費			
					県費			
					市債			
					その他			
					一般財源	66		
					H26予算額	A	66	
					H25当初予算額	B	66	
H25現計予算額		66						
増減額	A-B							
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		66	66					
従事職員数【人工】		0.02	0.02					
人件費(人工×8,000千円)		160	160					
総事業費:人件費含む(千円)		226	226					
活動指標名		会員数						
活動指標の算式		—						
活動指標の実績		86	単位	人		83	単位	人
単位当たりコスト(円)		2,628	2,723					
事業の目標	猟友会、地域農林家、行政との連携のとれた安全で効率的な有害鳥獣の駆除					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (7)有害鳥獣対策の推進	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀・名張地域鳥獣害防止広域対策事業					
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	宇陀市、名張市連携による鳥獣被害の防止を目的として、平成18年7月に宇陀・名張地域鳥獣害防止広域対策協議会を立ち上げ、協議会が事業主体となり鳥獣害防止対策事業を実施する。				区分	No.	区分名	
					款	5	農林水産業費	
					項	2	林業費	
					目	2	林業振興費	
細目	1	林業振興費						
根拠条例等	鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律							
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化							
H26年度事業の概要	ソフト事業(補助率:1/2 事業費440万円) ニホンザル群の個体数及び群構成の調査 モンキードッグ育成 追払いグッズの配布 獣肉利用の推進 不要果樹伐採等 ハード事業(補助率:定額 事業費1億円) 防除柵設置				財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果	鳥獣被害防止施設設置 40地域 135km アライグマ捕獲 28頭 ニホンザル位置情報発信 不要果樹伐採 研修会開催				使用料			
					国費			
					県費			
					市債			
					その他			
					一般財源	1,100		
					H26予算額	A 1,100		
H25当初予算額	B 1,100							
H25現計予算額	1,100							
増減額	A-B							
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		1,100	1,100					
従事職員数【人工】		0.20	0.20					
人件費(人工×8,000千円)		1,600	1,600					
総事業費:人件費含む(千円)		2,700	2,700					
活動指標名		ニホンザル捕獲頭数						
活動指標の算式		—						
活動指標の実績		5	単位	頭		5	単位	頭
単位当たりコスト(円)		540,000	540,000					
事業の目標	宇陀市、名張市連携による鳥獣被害の防止					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (7)有害鳥獣対策の推進	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	美しい森林づくり基盤整備補助金					
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法において、宇陀市が作成した「特定間伐等促進計画」に基づき、森林所有者等が実施する取り組み(地球温暖化防止をはじめとする森林の多面的機能の維持増進のための森林整備事業 例:間伐・作業道開設)を支援するため、予算の範囲内で交付金を交付する。				区分	No.	区分名	
					款	5	農林水産業費	
					項	2	林業費	
					目	2	林業振興費	
細目	1	林業振興費						
根拠条例等	宇陀市美しい森林づくり基盤整備事業補助金交付要綱							
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化							
H26年度事業の概要	森林所有者等が実施した森林整備(間伐、作業道開設)に対し、予算の範囲内で事業に係る経費の1/2を補助する。 市では市内森林組合が森林所有者の代理となって交付申請を行っている。 【H26年事業】 全体事業費 28,550千円 うち国庫 14,275千円 所有者負担 14,275千円 事業概要 間伐 A=80ha 作業道 L=3,000m				財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果	県補助事業「木材生産林育成整備事業」では対象とならない森林整備についても施業対象となるため、小規模山林所有者も比較的活用しやすい事業である。この事業により市内山林の森林整備を行うことにより、森林の持つ多面的機能の維持増進を図ることが出来る。 ※県補助事業では、間伐面積5ha以上、1haあたり10m ³ 以上の木材搬出がないと補助対象とならない。また、60年生以上の高齢級林も対象外である。当該事業では上記要件を満たさなくても事業実施可能。ただし、補助率は、県事業7割に対し5割となる。				使用料			
					国費	14,275		
					県費			
					市債			
					その他			
					一般財源	1		
					H26予算額	A	14,276	
					H25当初予算額	B	7,661	
H25現計予算額	15,103							
増減額	A-B	6,615						
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		2,321	15,103					
従事職員数【人工】		0.40	0.40					
人件費(人工×8,000千円)		3,200	3,200					
総事業費:人件費含む(千円)		5,521	18,303					
活動指標名		間伐面積						
活動指標の算式								
活動指標の実績		15	単位	ha		93	単位	ha
単位当たりコスト(円)		368,067	196,806					
事業の目標	地球温暖化防止をはじめとする、森林の多面的機能の維持増進のための森林整備を支援することを目標とする。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] その他の農林業予算	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市里山の広葉樹林再生事業					
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	拡大造林政策により里山にまで植林されたスギ・ヒノキが利用されずに荒廃し、人家周辺の里山林の整備が放置されている。国、県補助の対象とならない、里山の人工林を整備する市民活動について、一般財源により補助を行い樹種転換を推進する。				区分 No.	区分名		
					款	5	農林水産業費	
					項	2	林業費	
					目	2	林業振興費	
細目	1	林業振興費						
根拠条例等	宇陀市里山の広葉樹林再生事業補助金交付要綱							
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現							
H26年度事業の概要	人家から50m程度までのスギ・ヒノキを中心とした里山の針葉樹林を伐採し、クヌギやナラなどを中心とした広葉樹の苗木を植栽し、その費用を補助する。 新規 1事業地当たり 500,000円×2箇所=1,000,000円				財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果	土砂崩壊災害の防止、環境保全林・景観保全林や水源涵養林としての人家周辺の里山林が本来持っている機能回復やスギ・ヒノキ花粉飛散量の低減をも目指す。				使用料			
					国費			
					県費			
					市債			
					その他			
					一般財源	1,000		
					H26予算額	A 1,000		
					H25当初予算額	B 200		
H25現計予算額	200							
増減額	A-B 800							
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		0	200					
従事職員数【人工】		0.01	0.01					
人件費(人工×8,000千円)		80	80					
総事業費:人件費含む(千円)		80	280					
活動指標名		申請件数						
活動指標の算式		-						
活動指標の実績		0	単位	件		1	単位	件
単位当たりコスト(円)				280,000				
事業の目標	スギ・ヒノキの人工林について、20aの広葉樹林へと樹種転換を誘導する。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (6)土砂災害予防のため、山林の樹種の転換の推進	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	森林整備地域活動支援交付金事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	適時適切な森林施業が十分に行われない森林の発生を防止し、森林の有する多面的機能が確保されるよう、森林経営計画の作成を通じた森林整備の推進を図り、森林の保護・保全活動への支援を行う。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	2	林業費
					目	2	林業振興費
細目	4	森林整備地域活動支援事業費					
根拠条例等	宇陀市森林整備地域活動支援交付金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	森林経営計画の認定を受けた森林所有者等と市との間で協定を締結し、対象となる森林面積(積算基礎森林面積1haあたり4,000円を交付。 積算基礎森林面積 288ha 対象となる行為 森林の保護・保全活動(作業道修繕等) 288ha × 4,000円 = 1,152千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	森林経営計画の認定を受けた森林経営に意欲のある者に対し、交付金を有効活用し、林業振興と併せて森林の持つ多面的機能が十分発揮されるよう支援を行う。				使用料		
					国費		
					県費	864	
					市債		
					その他		
					一般財源	288	
					H26予算額	A	1,152
					H25当初予算額	B	15,841
H25現計予算額		15,841					
増減額	A-B	▲ 14,689					
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		276	0		森林整備地域活動支援交付金 864千円		
従事職員数【人工】		0.40	0.40				
人件費(人工×8,000千円)		3,200	3,200				
総事業費:人件費含む(千円)		3,476	3,200				
活動指標名	積算基礎森林面積						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績	6,499	単位	ha	0	単位	ha	
単位当たりコスト(円)	535		0				
事業の目標	適時適切な施業実施を確保するため、その実施に不可欠な作業道整備等を支援する。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] その他の農林業予算	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	森林環境税施業放置林整備事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	平成18年度施行の「奈良県森林環境税条例」により、市内のスギ・ヒノキの人工林を対象に、10年以上間伐による手入れの無い施業放置林について森林所有者に代わって間伐を実施し、森林の発揮すべき環境面の機能を保全する。森林所有者の事業費負担なし(100%県費)。				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	2	林業費
					目	2	林業振興費
細目	11	森林環境税施業放置林整備事業費					
根拠条例等	奈良県森林環境税条例						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	事業概要	間伐面積 A=180ha			財源の内訳 (単位:千円)		
	事業対象	①人家周辺の山地災害防止に資する区域 ②集落水源の集水区域 ③近畿・東海自然歩道沿いのバッファゾーン ④室生赤目青山国定公園区域 ⑤市が環境保全に重要と位置づける区域			分担金		
事業の成果	事業内容	上記区域内で10年以上放置された人工林を対象に40%以上の間伐を実施			使用料		
	事業の成果	平成18年度～24年度の7ヶ年で838.31haの間伐を実施			国費		
		間伐実施面積			県費	71,424	
		H18年度 A= 93.40ha			市債		
		H19年度 A=138.76ha			その他		
		H20年度 A=148.93ha			一般財源	100	
		H21年度 A=101.06ha			H26予算額 A	71,524	
		H22年度 A= 90.53ha			H25当初予算額 B	82,727	
		H23年度 A=108.02ha			H25現計予算額	82,727	
		H24年度 A=157.61ha			増減額 A-B	▲ 11,203	
		H25年度 A=177.10ha					
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		53,409	65,083		森林環境税施業放置林整備事業委託金 71,424千円		
従事職員数【人工】		0.60	0.60				
人件費(人工×8,000千円)		4,800	4,800				
総事業費:人件費含む(千円)		58,209	69,883				
活動指標名		間伐実施面積					
活動指標の算式		—					
活動指標の実績		157	単位	ha	177	単位	ha
単位当たりコスト(円)		370,758		394,819			
事業の目標	奈良県森林環境税により実施している事業もH23年度から2期目(H23～27)に入り、今後も積極的に施業放置林の間伐を実施することで、市内山林の荒廃を阻止し森林の持つ健全な環境保全機能を回復させる。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] その他の農林業予算	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ふるさと復興協力隊事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	紀伊半島大水害からの復興活動等、地域協力活動を行う「ふるさと復興協力隊」を奈良県からの派遣を受ける。 業務としては、宇陀市内の一次産業である農林業の被害を最小限に抑えるよう猟友会や実施隊との連携を保ち各自治会等へ有害鳥獣被害防止対策の指導・啓発を行う。				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	2	林業費
					目	2	林業振興費
細目	12	ふるさと復興協力隊事業					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H26年度事業の概要	鳥獣被害防止計画に基づき市猟友会の協力を募り実施隊と連携していく。 旅費 110,000円(研修会参加旅費) 需用費 208,000円(消耗品、燃料費、車検整備) 役務費 64,000円(狩猟者登録手数料等) 使用料 1,090,000円(家賃借上料等) 負担金 20,000円(研修会参加負担) 公課費 9,000円(自動車重量税等) ※給与は県より直接支給				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	・ふるさと復興協力隊の活動に必要な住居及び資機材等の整備を行い、宇陀市内で居住 ・各集落での鳥獣防護指導、捕獲体制の整備、啓発 ・猟友会及び鳥獣被害対策実施隊との連携による捕獲指導 ・有害鳥獣防護柵設置の指導及び管理指導など				使用料		
					国費		
					県費	1,500	
					市債		
					その他		
					一般財源	1	
					H26予算額	A 1,501	
H25当初予算額	B 1,501						
H25現計予算額	1,501						
増減額	A-B						
事業のコスト			平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	1,500	1,501					
従事職員数【人工】	0.20	0.20					
人件費(人工×8,000千円)	1,600	1,600					
総事業費:人件費含む(千円)	3,100	3,101					
活動指標名	捕獲頭数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績	14 単位 頭	14 単位 頭					
単位当たりコスト(円)	221,429	221,500					
事業の目標	各集落での鳥獣防護指導、捕獲体制の整備、啓発を行う。また、猟友会及び鳥獣被害対策実施隊との連携による捕獲指導、さらに各集落において有害鳥獣防護柵設置の指導及び管理指導を行う。					<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (7)有害鳥獣対策の推進	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	県産材生産促進事業					
所管課	142	農林課	(農林商工部)					
事業の目的 森林の保全や水源のかん養など森林の有する公益的機能の持続的な発揮を目的とした間伐等の適正な森林整備を推進するとともに、未利用となっている県産材(間伐材)の搬出及び利用促進を図るため、県が定める宇陀市内の森林組合を含む認定事業体に対し、県産材生産促進事業の経費について補助金を交付する。					宇陀市一般会計予算			
					区分	No.	区分名	
					款	5	農林水産業費	
					項	2	林業費	
					目	2	林業振興費	
細目	86	県産材生産促進事業						
根拠条例等	宇陀市県産材生産促進事業補助金交付要綱							
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化							
H26年度事業の概要 搬出コストの不採算により未利用となっている県産材の出材事業を行う認定事業体に対し、その搬出及び利用促進に係る経費を予算の範囲内で補助金を交付する。 1m ³ あたり 県=2,000円 市=1,500円を補助 事業量 V=1,950m ³ 内訳 宇陀市森林組合 1,500m ³ 室生村森林組合 150m ³ 森田林業 300m ³					財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果 未利用となっている間伐材の搬出及び利用促進を図ることができた。 H22年度 V= 980m ³ H23年度 V=2,351m ³ H24年度 V=2,351m ³ H25年度 V=1,700m ³ ※宇陀市森林組合≒1,500m ³ 室生村森林組合≒200m ³					使用料			
					国費			
					県費	3,900		
					市債			
					その他			
					一般財源		2,925	
					H26予算額	A 6,825		
					H25当初予算額	B	5,950	
					H25現計予算額	5,950		
					増減額	A-B	875	
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況 県産材生産促進事業補助金 3,900千円			
決算額又は決算見込額(千円)		5,453	5,950					
従事職員数【人工】		0.40	0.40					
人件費(人工×8,000千円)		3,200	3,200					
総事業費:人件費含む(千円)		8,653	9,150					
活動指標名		間伐材材積						
活動指標の算式		—						
活動指標の実績		2,351	単位	m ³		1,700	単位	m ³
単位当たりコスト(円)		3,681	5,382					
事業の目標 未利用となっている県産材の搬出及び利用促進を図ることを目標とする。						備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [農林業・商工業の振興] その他の農林業予算		